

＜PT・OTのための測定評価シリーズ＞ 3 MMT—頭部・頸部・上肢 第3版

伊藤俊一（監修）、仙石泰仁、遠藤達矢（編集）

B5判・256頁

定価：5,060円（本体4,600円＋税10%）

三輪書店刊，2023年

＜PT・OTのための測定評価シリーズ＞ 4 MMT—体幹・下肢 第3版

伊藤俊一（監修）、仙石泰仁、遠藤達矢（編集）

B5判・192頁

定価：4,400円（本体4,000円＋税10%）

三輪書店刊，2023年

理学療法士のリスキリングに最良の教材

〔評者〕**森山英樹** 神戸大学生命・医学系保健学域

理学療法士は日常的にMMTを行います。しかし、ちゃんとできていると自信をもって言える人がどのくらいいるでしょう。というのも、MMTは簡単ではないと思うからです。段階4での抵抗の中等度は曖昧で、主観に依るところが大きいのは、その最たるものです。ほとんどの方が学んだMMTの教科書—Danielsらの徒手筋力検査法は、第6版でのメイクテストからブレイクテストへの大きな転換をはじめ、信頼性や妥当性を高める方向で版を重ねてきたように思います。

本シリーズ監修者の伊藤俊一先生は、長年、日本の理学療法の標準化に心血を注がれています。本書を含む「PT・OTのための測定評価シリーズ」はその一環と理解しています。本書は、Danielsらの徒手筋力検査法の最新版である第10版に準拠したうえで、固定と抵抗や代償運動の防止を明瞭に示し、実際の臨床現場に即

した別法や注意点なども説明することで、実用的な測定の信頼性と再現性を高めたMMTの標準化の集大成をみせています。また、今回の改訂で編集者に加わった遠藤達矢先生は、学生時代から15年以上にわたる伊藤先生との師弟関係を受けてか、新たな加筆箇所も統一感をもって編集されています。

本書は「頭部・頸部・上肢」と「体幹・下肢とハンドヘルドダイナモメーター」の2冊から成ります。圧倒されるほどの豊富な写真に加えて、動きと抵抗の方向や固定部位が図示され、とにかくわかりやすさが徹底されています。また、類書の多くでは、文章のみで説明されている代償運動が写真で示されているので、代償運動の見きわめを助けてくれます。

そして、本書には動画が付いています。おまけ的なものが多いなかで本書は違い、本を見なくとも動画のみで学ぶことができるほど

充実しています。さらに、音声が入り込みに吹き込まれていますので、真似れば、段階3での対象者への動きの説明に悩むことなくなるでしょう。また、前版まで付属DVDに収められていた動画が今版からWeb配信となり、デバイスを問わず視聴できるようになりました。このように、本書は自学自習にもうってつけです。

このほか、本書で初めて、ハンドヘルドダイナモメーターの標準的な測定方法が示されたことは特筆すべき点です。

MMTは一昔前のものとは様変わりしています。卒業以来、MMTの教科書をほとんど開いていない方や、MMTに自信があるとは言えない方は、ぜひ、本書を手にとってください。実は私も理学療法評価学の授業を担当するにあたり、本書の初版で学び直しました。間違いなく本書は、理学療法士にとって、リスキリングのための最良の教材です。